

海老名市教育委員会

(令和5年 12月 定例会議事日程)

日時 令和5年12月25日(月)

午後3時00分

場所 えびなこどもセンター 201会議室

教育長報告

【報告事項】

日程第1 報告第47号 令和5年度海老名市一般会計補正予算(第11号)のうち教育に関する部分に係る意見の申出について

日程第2 報告第48号 海老名市食物アレルギー対応の手引き(第二次改訂版)について



海老名市教育委員会

令和5年度

12月定例会

【教育長報告】



1 主な事業報告

- 11月27日(月) 教育委員会11月定例会
教育課題研究会
初任者授業参観(海老名小)
- 28日(火) よりよい授業づくり学校訪問(有馬小)
- 29日(水) 学状結果説明あいさつ動画撮影
- 30日(木) 市長定例記者会見
びなる一むパンまつり
県教委行政部職員面談
- 12月 1日(金) 朝のあいさつ運動(今泉小・今泉中)
12月校長会議
ぷらっとカフェ参加大学生面談
- 2日(土) 人権作文・ポスターコンテスト表彰式
- 3日(日) ロボットコンテスト
- 4日(月) 海老名市教育管理職退職者の会
- 5日(火) 学校用務員会議
えびな支援学校生徒会選挙視察
都市間教育交流事業報告会
- 6日(水) 市議会第4回定例会本会議(開会)
一般質問振り分け・部内調整
- 7日(木) 12月教頭会議
大谷中学校英語科台湾との交流授業参観
一般質問部内ヒアリング



- 8日(金) 一般質問市長ヒアリング
臨時現職教育運営協議会
不登校支援団体クリスマス会
- 9日(土) こころのバリアフリー2023
- 12日(火) 学校ICT打合せ
- 13日(水) 学校再整備計画打合せ
海老名青年会議所みらい議会報告
- 14日(木) 初任者授業参観(有馬中)
- 15日(金) 一般質問部内調整
市内清掃関係業者面会
- 16日(土) 今泉中学校区地区懇談会
- 18日(月) 市議会第4回定例会本会議一般質問①
臨時最高経営会議
- 19日(火) 市議会第4回定例会本会議一般質問②
- 20日(水) 市議会第4回定例会本会議一般質問③
- 21日(木) 学校予算調整会議
校長連絡会
最高経営会議
- 22日(金) 市議会第4回定例会本会議(閉会)
- 25日(月) 教育委員会12月定例会
教育課題研究会





2 「子育て」について

教育行政を、責任をもって進める立場として、私は、「子育て」について、常に、あれこれ、思い・考えるところです。

まずは、自分の「子育て」についてですが、ありがたいことに、我が家では、3人の男の子を授かりました。

何より、健康であることを願いましたが、親のわがままとして、「元氣・空・海」と名前をつけました。今では、よくある名前ですが、その頃はあまりなく、当時の飯島教頭先生から、それでいいのか、こどもが困るのではないかと、考え直した方がよいのではと、何度も確認されました。

子どもたち3人は、生まれてすぐから、お盆とお正月は、帰省して、田舎で過ごしました。両親に顔を見せたいということもありましたが、自分が生まれ育った故郷の海や山、景色を見せたいという思いでした。故郷の自分が美しいと思う景色のすべてを見て回りました。また、自分の子どもの頃の慣例である、元朝参り（初日の出）やお墓参りを同じように経験させました。

また、長男坊が中学に入学する3年前から、中学校では部活動で夏休み時間が取れないと考え、夏休みに、1年目は東北一周、2年目は北海道東部、3年目は北海道北部を、毎年、一週間ほどかけて、キャンプをして回りました。これも、自分が高校生や大学生の頃に旅行して、美しいと思った場所をこどもたちにも見せたいという思いでした。

これらは、「子育て」の親のわがままです。

そして、「子育て」の親の責任としては、自分自身が、それほど裕福な家庭ではなかったけれど、両親が懸命に働いて、中学卒業と同時に家を出て、大学まで卒業させてもらったことから、こどもたちが希望すれば、希望どおりの教育を受けさせることが、親のやるべきことと示されたことでした。

実は、我が家の3人の愚息たちは、大学どころか、結婚式まで親のすねをかじってくれましたが、今では、3人とも家庭をもち、それぞれ2人のこどもを授かり、「子育て」に奮闘中です。

願いとしては、愚息たちにも、親のわがままと親の責任を果たしてほしいと思うところです。

さて、国は、日本の国を将来につなぐために、少子高齢化という大き



な課題の解決が待ったなしで求められていることから、「こども家庭庁」を新たに創設して、異次元の「子育て」支援を掲げ、取組をはじめたところでは。

そのような中、これまでも、「子育て」支援策として、出生から中学校卒業まで、こどもひとりあたり、月1万円から1万5千円の児童手当の支給がなされているところであり、その拡充について検討されているところでは。

なお、「子育て」支援策、国の対応のほかに、都道府県、市町村によっては、妊娠・出産・医療に係って、独自の支援策を講じていることがあり、その支援の格差に問題になっているところでもあります。

児童手当については、私の「子育て」の頃はその制度はなく、3人で年間36万円支給されるとしたら、助かっただろうな思うところでは。ただ、現在支給を受けている職員に聞くと、オムツ代がけっこう大変であること、すぐ大きくなるので、服や靴を買うのにお金がかかることでした。

学校教育費に係る保護者支援については、国の支援は、義務教育の授業料の無償と教科書の無償配布が基本です。

そのため、学校教育費に係る負担軽減策については、「子育て」支援策と同様に、都道府県や市町村によって独自の保護者支援がなされているところでは。

海老名市においても、セーフティネットとしての経済的に就学が困難な家庭へのスクールライフサポート制度とともに、多くの市独自の支援を行っていて、そのメニューや支援額の充実は、県内でもトップクラスであると自負するところでは。また、このような状況から、子育て支援策同様、支援策の都道府県や市町村の格差が問われているところでは。

これについては、全国・関東甲信越静・県の教育長会議などで他市町村の教育長と情報交換しますが、各市町村の財政状況や人口規模、児童生徒数の増減の状況などを聞くと、現在の海老名市の状況が全国的に見れば異例で、全国の多くの市町村では、児童生徒数の急激な減少に歯止めをかけるために、さまざま点での教育の無償化に取り組んでいるところでは。結果としては、学校の統合・廃校に直面する中で、少子高齢化と財政状況の悪化の負のスパイラルを止めることは難しく、それでも対策を取らざるを得ない状況であるということでは。

私は、海老名市の状況を話すとき羨ましがられるところでは。



そんな中で、学校給食費の無償化についても話題になるところです。学校給食費の無償化の判断については、以前から、子育て世代の流出を防ぐために、また、子育て世代の転入を促進するために、それを行っている市町村があったところですが、ここ数年は、政策として選挙時に公約として掲げ、無償化をするケースが多く見られるところではあります。

私としては、学校給食費の無償化は、各市町村が行うべきものではなく、子育て支援策として、全国一律に、文部科学省が行うか、こども手当の学校給食費相当分を上乗せして、生活上の衣食住の支援として、行うべきものだと考えるところではあります。

しかしながら、保護者にとって、給食費が負担であることは、確かなことなので、令和6年度には、5年前に設置した「学校教育費に係る保護者負担経費検討委員会」のような場を設置して、こどもたちや保護者、教職員、市民の方々の声を聞きながら、話し合いを重ね、あらためて、教育に係るさまざまな経費について、その保護者負担のあり方について、検討したいと考えるところではあります。

そして、私としては、その中で、経済的な側面だけでなく、『「子育て」について』も話し合うことができればと考えるところではあります。

「子育て」は、その人その人の人生の選択であり、まして、こどもは授かりものです。

そうであるならば、「子育て」は、こどもがいる家庭だけでなく、「子育て」のためのよりよい環境やその支援について、社会全体で、大人たちがその責任として、全員で、そのよりよい方策を考えなければならないと、私は、思うのです。

確かなことは、こどもたちひとりひとは、みなさんと同じように唯一無二のたいせつな命であり、この星の、この国の、この町の将来を担う存在です。

みんなで、楽しく、子育てしましょうよ。

私は、そんなことを、常に、あれこれ思い・考えているのです。

以上です。

※別紙資料 教職員への便り

令和5年度「いがすたいがすた」第8号 第9号



いがすた いがすた

教育長だより 第8号

2023.11.28 伊藤 文康

先週末から、急に気温が低くなり、冬の気配がしてきたところです。

今週の金曜日からは、12月です。

第二学期のまとめの月となります。

みなさん、体調はいかがでしょう。

ここから、さらに、忙しくあわただしい時期となります。また、インフルエンザ等の感染症が拡大しているところですので、体調管理には、充分にご留意ください。

無理は禁物ですが、ここから、もうひとふんばり、第二学期の終業式まで、よろしく願います。

みなさん、大変な思いをしていたら、仕事で迷惑をかけたくない、仲間や子どもたちに迷惑をかけたくないという気持ちはあるでしょうが、仕事よりも、自分の健康を、自分をたいせつにしてください。

私は、今、来年度の予算編成に市教委の仲間とともに、多くの時間を費やして取り組んでいるところです。12月に入ると、市議会がはじまり、忙しさのピークをむかえます。「稼ぎ時」と称して、自分だけではどうにもならないので、仲間たちに、ともに力を合わせて、ともに助け合って乗り越えよう！と声をかけているところです。みんなと一緒に仕事します。

『うまくいかないこと』

「さっきの授業、発問、この方がよかったかなあ。」

「朝、あの子にちゃんと声をかけていたら。」

「子どもたちの意見をまとめるのは難しいなあ。」

「わかってほしかったけど、言い過ぎたかなあ。」

私は、学級担任の頃、「うまくいかないこと」だらけでした。

9月から、初任者のみなさんの授業を参観させていただく機会があり、楽しみにしているのですが、みなさん、私が初任の頃と比べると、授業の流し方、子どもとのやりとりなどが、数段よくできていて、スゴいなあと思うところです。

でも、「うまくいかないこと」はあれこれあることでしょう。

私は、今も、この職にあっても、相変わらず、「うまくいかないこと」だらけです。そして、「うまく」ってなんだろうと考える始末です。

私たちは、「うまくいかないこと」と自分をやりとりしながら、考えて何とかしようともがいて、仕事する、生活することの方が正直なのかもしれません。みなさん、「うまくいかないこと」だらけでも、大丈夫ですよ。



いがすた いがすた

教育長だより 第9号

2023.12.21 伊藤 文康

いよいよ、明日が、第二学期の終業式となります。

終業式、みなさんは、目の前のこどもたちに、どんな言葉をプレゼントするのでしょうか。第二学期のこどもたちひとりひとりの成長をどのような言葉で表現するのでしょうか。その準備はいかがでしょうか。

第二学期、ふり返って、どんなことを思うのでしょうか。

私は、学校に行き、授業や行事のほんの一場面を見させていただいてるだけですが、こどもたちの姿、みなさんの姿を見て、日々、学校教育活動を行っていただいていることを、ありがたく思っています。

感謝しています。

こどもたちと過ごす充実した時間はあったことでしょうか、4カ月間、毎日毎日、大変な思いをして、苦勞して、ここまでやってきたことでしょうか。みなさん、本当に、お疲れさまでした。ありがとうございます。

今年の冬休みは、土日休日を含めると、例年より長い、17日間となります。私としては、こどもたち以上に、みなさんに、ぜひ、冬休みを楽しんでほしいと願うところです。

心と体をゆっくりと休めて、まずは、第二学期の疲れを癒して、できれば、自分の好きな処に出掛けたり、自分の好きなことをしたりして、リフレッシュしてほしいものです。

それでは、みなさん、今年もお世話になりました。

よいお年をお迎えください。

『日の出』

私は、早起きです。

一年の3分の2は、晴れていれば、こどもセンターで、大谷の峰から昇る朝日を眺めながら仕事をしています。

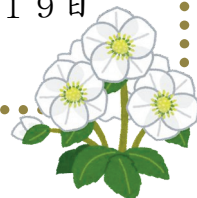
朝の時間は、仕事がかどります。私は、朝の時間は、主に、教育についての自分の思いや考えを文章にして、整理する時間としています。

そして、これまでも伝えてきましたが、私は、宮城県南三陸町の生まれで、元朝参りとして、幼いころから、1月1日元旦には、太平洋から昇る初日の出に手を合わせてきました。

毎年、その年にがんばることを、初日の出に、ぶつぶつ唱えていました。

みなさんは、2024年、どんな年であればと願うのでしょうか。

※それでは、初めての試みですが、2023年1月1日の初日の出と9月19日のロウソクのような日の出の写真を添付しますので、ご覧ください。





2023年1月1日 初日の出



2023年9月19日 ロウソクのような日の出

報告第47号

令和5年度海老名市一般会計補正予算（第11号）のうち教育に関する部分に係る意見の申出について

令和5年度海老名市一般会計補正予算（第11号）のうち教育に係る部分に関する意見の申出について、海老名市教育委員会教育長に対する事務の委任等に関する規則（昭和49年教委規則第2号）第3条第1項の規定により臨時に代理し申出をしたので、同条第2項の規定により報告する。

令和5年12月25日提出

海老名市教育委員会
教育長 伊藤文康

報告理由

令和5年度海老名市一般会計補正予算（第11号）のうち教育に関する部分に係る意見の申出を行ったため

令和5年度海老名市一般会計補正予算（第11号）のうち教育に関する部分 に係る意見の申出について

1 概要

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、海老名市長から意見を求められたため、異論なしとして申出を行った。

2 教育長の臨時代理

12月18日付けで市長から意見を求められたが、補正予算案は12月22日に閉会となった、令和5年第4回海老名市議会定例会に上程する予定であったため、その対応に急施を要したことから、海老名市教育委員会教育長に対する事務の委任等に関する規則第3条第1項の規定に基づき、教育長が臨時に代理し、申出を行った。

3 意見を求められた議会の議決を経るべき案件

令和5年度海老名市一般会計補正予算（第11号）のうち教育に関する部分

4 海老名市長からの文書

別紙のとおり

5 教育委員会からの申出文書

別紙のとおり

6 根拠法令（抜粋）

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律

第29条 地方公共団体の長は、歳入歳出予算のうち教育に関する事務に係る部分その他特に教育に関する事務について定める議会の議決を経るべき事件の議案を作成する場合においては、教育委員会の意見をきかなければならない。

海文発第14号
令和5年12月18日

海老名市教育委員会 殿



海老名市長 内野 優



令和5年度海老名市一般会計補正予算に関し意見を求めることについて

このことについて、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、令和5年度海老名市一般会計補正予算（第11号）のうち教育に関する部分について、貴教育委員会の意見を求める。

事務担当 文書法制課 北 内線5723

海教総収第 575 号
令和 5 年 12 月 19 日

海老名市長 内 野 優 殿

海老名市教育委員会



令和 5 年度海老名市一般会計補正予算に関する意見の申出について

このことについて、令和 5 年度海老名市一般会計補正予算（第 11 号）のうち教育に関する部分について、異論はありません。

事務担当 教育総務課 郷原 内線 84610

令和5年度 海老名市一般会計補正予算（第11号）【教育委員会所管部分】

1 歳入歳出予算補正
(1) 歳出

(単位：千円)

款・項・目・細目・細々目	所管課	補正前額	補正額	補正後額	説明
10 教育費	—	5,927,095	3,600	5,930,695	
3 中学校費	—	317,241	3,600	320,841	
1 学校管理費	—	258,622	3,600	262,222	
2 中学校管理経費	—	189,734	3,600	193,334	
1 中学校健康管理事業費	就学支援課	20,166	3,600	23,766	中学3年生応援インフルエンザ予防接種助成事業について、10月分の実績が昨年の実績を上回っていること及びインフルエンザの流行が収まらないため今後も接種数の増加が想定されることから、予算に不足が生じるおそれがあり、委託料を増額する。

報告第48号

海老名市食物アレルギー対応の手引き（第二次改訂版）について

海老名市食物アレルギー対応の手引き（第二次改訂版）について、海老名市教育委員会教育長に対する事務の委任等に関する規則（昭和49年教委規則第2号）第4条の規定により報告する。

令和5年12月25日提出

海老名市教育委員会
教育長 伊藤文康

報告理由

海老名市食物アレルギー対応の手引き（第二次改訂版）について報告したため

海老名市食物アレルギー対応の手引き（第二次改訂版）について

1 要旨

海老名市教育委員会では、「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン（財団法人 日本学校保健会発行）」に基づき、平成25年度に手引きを作成し平成28年度に一度改訂をして現在に至っています。

令和6年度から中学校完全給食が開始されることを受け、「食物アレルギー対応の手引き検討委員会」を発足し、食物アレルギーに関する最新の知見を踏まえながら、学校の実態に即した手引きになるよう見直しを行いましたので報告します。

2 改訂内容

別紙「海老名市食物アレルギー対応の手引き（第二次改訂版）」のとおり

3 施行予定日

令和6年1月

4 今後の予定

令和5年12月 海老名市立小中学校保護者へ周知
(市のホームページ・SumaMachi メール)

令和6年1月～3月 小中学校教職員へ周知
【小学校】 学校長から全教職員へ説明する。
【中学校】 就学支援課職員が出向き説明会を行う。